

GAD抗体

一見2型糖尿病。でも実は1型糖尿病？

糖尿病と診断したらGAD抗体を確認することが重要です

監修：東京都済生会中央病院 糖尿病・内分泌内科 及川 洋一 先生

GAD抗体は1型糖尿病の診断に有用な検査の1つです。
2型糖尿病との鑑別に役立ちます。

2型糖尿病として治療経過中に、血糖コントロールの急激な悪化をみた時は
1型糖尿病の関与も疑ってみましょう。

典型的な2型糖尿病と診断したつもりだったが・・・

症例：40歳 男性

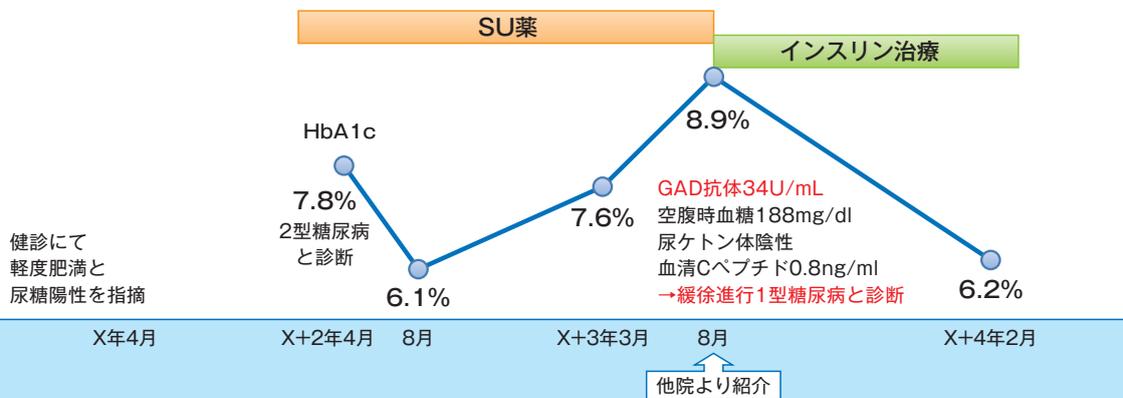
X年4月 健診で軽度肥満 (BMI 25.2kg/m²) と尿糖陽性を指摘されるも放置していた。

X+2年4月 健診で空腹時血糖158mg/dl、HbA1c7.8%を指摘され、A病院にて2型糖尿病と診断。SU薬が開始された。

X+3年3月 一旦改善していた血糖コントロールが再び悪化した。

X+3年8月 GAD抗体陽性であることが判明し、緩徐進行1型糖尿病と診断してインスリン治療を開始した。

X+4年2月 血糖コントロール良好である。



本症例のポイント

- 一見、肥満を伴う典型的な2型糖尿病と思われた。
- 2型として治療を続けるも、血糖コントロールが悪化していった。
- その後、緩徐進行1型糖尿病であることが判明した。

早期のGAD抗体測定が望まれた症例でした。

検査要項

検査コード	検査項目	材料	検体量	容器	保存条件	所要日数	検査方法	基準値	診療報酬区分番号	保険点数	保険収載名称
0187	抗GAD抗体	血清	0.3mL	A1→A2	冷蔵	2~5	RIA法	1.5未満 U/mL	D008-14	136	抗グルタミン酸デカルボキシラーゼ抗体 (抗GAD抗体)

※抗グルタミン酸デカルボキシラーゼ抗体 (抗GAD抗体)は、すでに糖尿病の診断が確定した患者に対し、1型糖尿病の診断に用いた場合に算定できる。

※九州・沖縄地区は所要日数3~6日となります。



株式会社 コスミック コーポレーション

〒112-0002 東京都文京区小石川2-7-3
TEL: 03-5802-5971 FAX: 03-5802-5974
http://www.cosmic-jpn.co.jp
e-mail: cc@cosmic-jpn.co.jp



➤ 2型糖尿病に潜む、 隠れた1型糖尿病を見逃していませんか？

このような時は、GAD抗体の測定が有用です

- 糖尿病と診断した時
- 血糖コントロールが急激に悪化した時
- Cペプチドが進行性に低下している時
- 他の自己免疫疾患(甲状腺疾患など)を合併した時
- 薬物療法(特にSU薬)の開始時や二次無効が疑われる時 など

➤ GAD抗体価をみる際のポイントは？^{*1}

糖尿病と診断したら、一見2型糖尿病にみえてもGAD抗体の測定を！
陽性(1.5U/ml以上)の場合は、**緩徐進行1型糖尿病**が疑われます

10U/ml
以上



インスリン依存状態への進展リスクが高い病態です。特にSU薬の使用は、内因性インスリン分泌能の低下を早めてしまう可能性があります。SU薬の使用は避け、早期からインスリン療法を考慮します。

10U/ml
未満



2型糖尿病と類似の経過を示す例がみられますが、**非常に緩徐な経過でインスリン依存状態に移行する例**もあり、注意が必要です。また他の自己抗体(IA-2抗体など)との重複陽性例は、病態の進展リスクが高い可能性があります。^{*2}

緩徐進行1型糖尿病とは・・・？

臨床的に2型と考えられる症例の約10%に
緩徐進行1型糖尿病の可能性があるとされています。^{*3}

【緩徐進行1型糖尿病の主な特徴】

- 病初期はインスリン非依存状態にあり食事療法や経口薬で血糖の是正が可能だが、数年の経過でインスリン分泌能が徐々に低下。最終的にインスリン依存状態に移行する。
- 発症年齢は30～50歳が多い。

• GAD抗体をはじめとする膵島関連自己抗体(ICAなど)が、経過中に持続陽性を示す。



これは2型糖尿病・・・！？
いえ、1型糖尿病です。

*1 J Clin Endocrinol Metab 93: 2115-2121, 2008

*2 Diabetes Res Clin Pract 80: 114-121, 2008

*3 糖尿病54(1), 65-75, 2011